

■秋山さと子 心理学者・宗教学者。ユング心理学の紹介者・解説者として絶大な影響力を持った。

あきやまさとこ

水平社結成・1922＝ 東京新宿区若松町で、禅寺(曹洞宗)に生まれる。本名達子。

満州事変・・・1931＝ 9歳：

日中戦争始・1937＝15歳：

大政翼賛会・1940＝18歳：文化学院を卒業し、結婚。

日米開戦・・・1941＝19歳：

敗戦・・・1945＝23歳：

三大事件・・・1949＝27歳：

朝鮮戦争始・1950＝28歳：離婚、以後、ジャズ歌手やラジオのディスクジョッキーで活躍。

独立回復・・・1951＝29歳：

なべ底不況・1957＝35歳：曹洞宗の学校_駒沢大学仏教学部に入学、

インスタマン・1958＝36歳：

安保闘争・・・1960＝38歳：

タイタイ病始・1961＝39歳：卒業。

東京リビウカ 1964＝42歳：西ドイツのテレビ局スタッフの招きで渡欧、全くの偶然から、心理学者ユングと出会い、チューリヒのユング研究所で分析医の訓練を受けて、

美濃部都知事1967＝45歳：

震ヶ関ビル・1968＝46歳：*帰国、お茶の水女子大学、駒沢大学などの講師をつとめながら、{東京ユング研究会}を主宰し、心理カウンセラーとしても活躍し、

石油ショック1973＝51歳：

田中角栄逮捕1976＝54歳：*「聖なる次元」以降、

JALハイジャック・1977＝55歳：訳書「通過儀礼」、

成田衝突・・・1978＝56歳：「ユング心理学からみた子どもの深層」。『女性本来のあるべき姿実現への道を開いた「いい女への旅立ち」、

革新大敗北・1979＝57歳：訳書「あずさ弓」「死とのであい」。『「いい結婚への旅立ち」、

貿易摩擦始・1980＝58歳：(訳)ユングの人間論。「悟りの分析」「聖なる男女」、ヨーロッパ民話を題材とした「長靴をはいた猫」、

・・・1981＝59歳：「母と子の深層」「エクスタシーの精神世界」「親子の絆をどう生かすか」「女の時間表」「女はそのまままで美しい」「夢診断」「おとぎの国に住む子どもたち」「素敵なお母さんの心理学」、

中曽根内閣・1982＝60歳：「恋人という他人」の深層。*代表作「ユング心理学へのいざない」「ユングの心理学」、

デイズ・ユースト・1983＝61歳：訳書「子ども時代の内的世界」。「自分という宇宙」、

・・・1984＝62歳：「母さん泳ぎに行っている」「色彩の冒険」、

ジャンボ機墜落1985＝63歳：「いい女は遊び上手」「子どもの情景」「子どもの王国」「愉ばしき科学」「メタ・セクシュアリティ」_「チューリヒ夢日記」。

バブル始・・・1986＝64歳：訳書「グノーシスの宗教」「夢の治癒力」。「ほんとうの女らしさを求めて」、

竹下内閣・・・1987＝65歳：訳書「かまきりの讃歌」「狩猟民の心」。「ユングとオカルト」「科学と仏教の謎」、

リクルート事件・1988＝66歳：「秋山さと子の『女性論』」「ユングの性格分析」「本当の自分になれる本」_「新・晩学のすすめ」、

昭和天皇没・1989＝67歳：訳書「ソウル・アンド・ボディ」。「お母さんを勇気づける本」「ひとり歩きできる女の男ともだち」「恋愛願望」「夢で自分がわかる本」「なぜ自分らしく生きられないのか」、

ドイツ統一・・・1990＝68歳：「愛する自分愛される自分」「子どもの世界」「運命の不思議を知る本」「家族という名の幻想」「性格の本」、

ソ連崩壊・・・1991＝69歳：「秋山さと子の『いい女論』」「親子げんかのすすめ」「カッコよく生きるには?」「夢で知る自分の心」「自分らしく生きよう」「恋をしつづける女たちへ」「子育ての心理学」「子どもの心がわかる本」「素敵な女の磨き方」「なぜ子供がわからないのですか?」、

バブル崩壊・1992＝70歳：「いい女へのパスポート」「いま、女たちへ」「心が満たされない時に読む本」急性心不全のため、など、*日本人の深層心理について膨大な著作を発表し続けて、没した。

没後にも、「自分らしく生きる心理学」「愛」を決断するための心理学」「夢は人に何を伝えているのか」「なぜ自分らしく生きられないのか」「男ともだち」「科学と宗教はどこまで出会えるか」「愛することも学ぶことも」「永遠の子どもたち」「ユング・ブッダの夢」「三十代から“自分”を生かす心理学」「夢ってなに」「占いとユング心理学」「自分がわかる性格の本」、訳書「ユングとタロット」と出版が続いた。

「日本の女性」、インターネット、